

児童相談所全国共通ダイヤル

189
いち はや く

児童虐待かもと思ったら
すぐにお電話ください。

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

『未来へと 命を繋ぐ 189』

みんなの思い出 うんどうあそび

9月下旬になると、夏の暑さが去って『運動』の季節到来です。乳児院のこどもたちは『うんどうあそび』を楽しみました。

ちびっこ探検隊を結成し、マイカーを操縦して出発です。初めの目的地は「おやつをGETできる山の頂上」。登山道に見立てた長～い階段を制覇した先に隠されたお菓子和ジュースを掘り当てると一休み。

さて、次は山を下りて「ジャングル探検」です。ジャングルの一本橋を渡り、坂を上り野山を越えて進むと、動物たちの好きな食べ物が生えていて、収穫をし人参やバナナ、笹が大好きな動物に順番に食べさせてあげました。

ジャングルの出口に到着すると、大きなトンネルが口を開けていて恐る恐る進むと「オバケの洞窟」に到着!!カいっばいハンマーを使ってオバケたちを退治するとゴールイン!

その後も「バルーン遊び」「ポップコーン遊び」を楽しみ、みんなたくさん動いて汗と笑いと思いで作りが出来ました。



秋の遠足

10月31日はハロウィン

ですが：乳児院は楽しみに待っていた秋の遠足でした。

前日の雨に、夜はてるてる坊主を作りながらドキドキでしたが、当日の朝時々小雨

が降るものの念願の富山市ファミリーパークに行きました。

見たり触れたりする本物の動物は初体験!!背の高いキリンに驚いて口をあぐんぐりとあける子、トラの迫力に思わず後ずさり



する子、可愛い赤ちゃんヤギにおずおずと手を伸ばす子、小さなモルモットの体を優しくなでる子などなど！

どの子にとっても新鮮な驚きいっぱい、とても貴重で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

お昼ご飯はサンドイッチバイキング!自分でお皿にサンドイッチや果実を取ることが出来ました。

どの子もおかわりをしてお腹がいっぱいになりました。



「来年の初夏のお楽しみ」

毎年、乳児院ではさつま芋を育てていますが、今年は小玉スイカが猛暑に負けずたくさん実り、子どもたちを喜ばせてくれました。

このようにフル回転の畑の土にお休みをあげるため、来年はイチゴ作りに挑戦することにし、苗とプランターを準備して、子ども一人ひとりが「おいしくなれ」と願いを込めて秋に苗植えを行いました。

また、自分たちが

育てた作物を自分たちの手で収穫して食べる事に興味を繋ぐことで「食育」に繋がれたらと思います。



行事予定

12月

クリスマス会

今年もサンタさんが来るのを、楽しみに待ってまーす♪

2月 豆まき

3月 ひなまつり





心からの「寄付ありがとうございました。」

8月

- 平野 絵里奈さん (富山県)
- 小西 佐知子さん (富山県)
- 清水 ひかりさん (富山県)
- 9月
- 三枝 沙織さん (東京都)
- 小林 勇二さん (東京都)
- (株)いーぼる 川口さん (東京都)
- 高林 尚広さん (富山県)
- 木村 明日美さん (東京都)



10月

- T・Sさん (富山県)
- 長瀬 美咲さん (東京都)
- 株式会社KANAYA 代表取締役 松井 勝馬さん (富山県)
- 北陸コカ・コーラボトリング 株式会社さん (富山県)
- Kexiune 三枝さん (東京都)
- 山下 さちさん (東京都)
- 小林 登志子 (富山県)



● 株式会社品川グループ

- 社長 品川 祐一郎さん (富山県)
- 沖田 莉香子さん (東京都)
- 長瀬 美咲さん (東京都)
- 島田 純子さん (富山県)
- 岡野さん (東京都)
- 東山 亜裕美さん (富山県)
- 門司 一徹さん (東京都)
- 百主舎ハクモンシャ 中村 真琴さん (富山県)



里親スキルアップ研修会



平成30年10月20日(土)、富山県民共生センターサンフォルテにおいて、里親委託の促進及び里親の開拓、養育技術の向上を目的に里親スキルアップ研修会を開催しました。会場には、里親や里親制度に関心のある方等70名を超える皆さんが参加されました。

愛知県西三河児童・障害者相談センター里親等相談支援員 柴田 千香氏による「子どもの育ちと里親の役割」児童相談所職員として、里親として」と題した講話が行われました。

「ご両親や自らが里親を目指す方々、里親として生活している状況等のお話の後、愛知県の里親

登録数や里親支援等の現状、また愛知県における里親(養子縁組里親と養育里親)の役割、真実告知の考え方について児童相談所の立場から、また里親としての立場から実体験を交えてお話ししていただきました。

参加者からは、「養子縁組と養育の違いを改めて再認識しなければと感じた」、「里親との出会いは実親との別れと、心にとめて子どもを育てたい」、「真実告知の大切さ、必ずしななければならないこと、が良く伝わった」等の感想が寄せられました。



里親制度についてのお問い合わせ先

富山県里親支援機関事務局 (富山県立乳児院内)
TEL076-432-8137 (平日9時~16時)

北陸コカ・コーラボトリング株式会社さまより寄贈いただきました。

KNB主催のジョブ・キッズとやまに参加された子どもたちの参加費の中から一部を当院の子どもたちのために寄贈いただきました。たくさんのおもてなしのいろいろな思いの詰まったご寄付、ありがとうございました。



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は、体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院 “病児保育室『おひさま』だより”～



「元気にな～れ!!」



8月から9月にはヘルパンギーナや咽頭炎など高熱が数日続く風邪が流行し、継続した利用がみられました。

今年はずでに東京でインフルエンザの流行が報告されました。10月からはインフルエンザの予防接種が始まっています。かかりつけ医にご相談ください。

スタッフ日誌より

朝、おひさまに来て、保護者の皆様さんとのお別れシーンは様々……。大泣きする子、「バイバイタッチ」の元気な子等々。

私たちはお迎えまでの時間をそれぞれの子どもたちが休養を取れるよう環境作りを心掛けています。

